

永坂石埭 坂田 漢詩人、書家。弘化二年九月二十一日尾張國生れ。

大正十二年八月二十日歿（八十五一六四）。講周、字蒼莊、通稱周一。

別號一桂堂、曼梅主人、玉池筋人、石埭居士、石埭老人、永坂對等。

代々醫家にして自らも上京して開業。森香齋、鷺津教堂の師。兼て

書を能くし、書籍の題簽、看板など有名。また平生の生活の支那趣

味を凝らし、茶道にも通じた。晩年歸郷。

著書、槐雨小史著『補春大傳奇』全二冊（石埭居士名、傍譯、明治十

三年）二月某葎園録版）、『情聲詩存』（合著、結城華堂編解、井上靈山補輯、大正四

年）二月、二十八年台結城録刊）、『赤壁賦』（永坂石埭名、大正十五年五

月五日大阪・書道研究會）、『石埭絶句名篇集』（川島清堂編、昭和初

年）二十八年九月二十日清和吟社、東洋文化振興会云）等。

